

北海道経済産業局のスタートアップ支援 ～ポストコロナ時代を切り拓くイノベーションの創出促進～

2020年6月23日
経済産業省北海道経済産業局

(本発表資料のお問い合わせ先)

経済産業省北海道経済産業局

地域経済部 産業技術革新課 (担当：南、茂木、有田)

電話：011-709-2311(内線2588)

E-mail：hokkaido-gijutsu@meti.go.jp

はじめに

- 国内では、東京や大阪、福岡などを中心に、スタートアップの創出が加速しており、起業家のコミュニティ形成が進んでいます。一方、道内においては、2000年頃には、札幌市内にIT企業集積が進み、「サッポロバレー」と称される札幌駅北口及び北大エリアを中心に、ITベンチャーの活動も活発化し、注目されていましたが、近年は道外他地域にスポットが当たっています。
- 道内では、全国を上回るスピードで人口減少や高齢化が進んでおり、医療・福祉・商業など、生活に不可欠なサービスやコミュニティ機能が低下することによる多くの**社会的課題が存在します。**加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により**オンライン化への対応が必要とされるなど、山積する諸課題解決の担い手として、新たなビジネスモデルを創造するスタートアップ企業の活躍が期待されます。**
- 一方、全国の他地域と比較すると、道内においては、**起業家が顕在化しておらず、また、資金調達手段や大企業との事業提携機会が限られていることなどから、スタートアップ企業がスケール（事業規模拡大）していく状況とはなっておらず、**新たなイノベーションや社会課題解決を担う、スタートアップ企業の創出環境の整備が喫緊の課題となっています。
- このため、北海道経済産業局では、**スタートアップ企業の創出等に先行して取り組む札幌市をはじめとした関係機関との連携により、スタートアップ企業の事業化支援や、スタートアップ企業が持続的に生み出されるための支援体制の強化**に取り組むとともに、**ポストコロナに挑戦するスタートアップ企業の成長支援**に重点的に取り組みます。

本年度取組の全体像

取組①スタートアップ創出促進のための調査とアクションプランの策定

- 潜在的な**起業家**や**スタートアップ企業**を探索・調査
- 道内のスタートアップと**VC・アクセラレーター・大手事業会社**との**マッチング・協業の仕組み**を検討
- スタートアップ・起業家の**掘り起こしから事業化までの支援方策**を**アクションプラン**としてとりまとめ

取組②各種ピッチイベント・マッチングイベントの開催

- オンラインピッチイベント「**ポストコロナ時代に立ち向かうスタートアップ**」
- 起業家のビジネスプラン発表「**“NoMaps Dream Pitch”2020**」
- 大手事業会社のニーズとスタートアップ企業のビジネスマッチング「**オープンイノベーションチャレンジピッチ**」

取組③スタートアップ企業や起業家予備軍の成長・育成支援

- **起業意識や能力の向上を図るための啓発セミナー**等の開催
- **ポストコロナにおける新ビジネス創出**に向けた勉強会等の開催
- ビジネスプランブラッシュアップのための**メンター支援**

取組④スタートアップ創出支援に係る関係機関ネットワークの強化

- STARTUP CITY SAPPORO等との連携による「**J-Startup北海道**」の始動
- 道内支援機関等のネットワーキングによる**オープンイノベーション推進体制の強化**

取組①スタートアップ創出促進のための調査とアクションプランの策定

- 各業界コミュニティや大学等へのヒアリング調査を通じて、施策対象となる起業家やスタートアップ企業をターゲティング。
- スタートアップ企業の成長に不可欠な、資金調達や販路拡大の支援に向けて、首都圏を中心に、VC・アクセラレーター・大手事業会社とのマッチング・協働の仕組みを検討する。
- 調査結果から、起業家・スタートアップ企業の発掘から事業化までの支援方策を取りまとめ、アクションプランを策定。

【調査①】
起業家・
スタートアップ
企業を探す

【調査②】
首都圏機能との
マッチングや協業
の仕組みを検討

①ヒアリング調査

・スタートアップ経営者 ・大学発ベンチャー ・業界コミュニティ ・コワーキング、シェアオフィス
・札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会 ・スタートアップ支援プログラム

②起業家及びスタートアップ企業のリストアップ

特に、ポストコロナに関連したサービスや製品等を保有する起業家やスタートアップ企業を発掘し、支援方策等を検討し、具体のプロジェクト組成に繋げる。

①ヒアリング調査

・VC（投資） ・アクセラレーター（短期間でビジネスを急成長させるプログラム支援）
・大手事業会社の投資部門やCVC・オープンイノベーションを支援する企業等

②マッチング・協業の仕組みの検討

仕組みを検討し、道内スタートアップ企業とのビジネスマッチングのコーディネートを試行。



【“スタートアップ創出・支援アクションプラン”のイメージ】

①スタートアップ企業による新ビジネス・新プロジェクトの創出

～ポストコロナにおけるイノベティブなスタートアップ企業の躍進に向けて～

②首都圏の投資・マッチング機能を活用した協業・ビジネスマッチングの促進

③道内におけるスタートアップエコシステムの形成

～札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会等と一体となった支援体制の構築～

取組②各種ピッチイベント・マッチングイベントの開催

- 道内のスタートアップ企業や起業家のスケールに向けた資金調達、販路開拓を支援するため、新たな製品・サービスやテクノロジーを発信するための「ピッチイベント」を開催する。
- また、スタートアップ企業の協業先や共同研究先の開拓、資金調達、製品・サービスのさらなる販路拡大を支援するため、外部との連携意欲が高い大手事業会社等との「ビジネスマッチング」を開催する。

「ポストコロナ時代に挑戦するスタートアップ」ピッチイベント

【オンライン開催】

- 日程：①2020年7月9日(木)
②2020年7月28日(火)
- 概要：IT・ヘルスケア分野のスタートアップの新たなテクノロジーやサービスを発信・PRし、販路開拓先やVCとのマッチングを行う。
- ①IT編 ピッチ企業
- ・AWL(株)
 - ・(株)AmbiRise
 - ・エコモット(株)
- ②バイオ・ヘルスケア編 ピッチ企業
- ・(株)イーベック
 - ・(株)サンクレエ
 - ・ボードレスビジョン(株)

“NoMaps Dream Pitch”2020

＜NoMaps関連イベント＞

【オンライン開催】

- 日程：2020年10月23日(金)
- 概要：技術シーズを基に起業し、スケールを目指す起業家、研究者等がビジネスプランを発表。ニュービジネスの専門家による厳正な審査により、優秀チームには、全国規模のピッチコンテストの参加機会を提供。
- 表彰：
- ・北海道経済産業局長賞（最優秀賞）
 - ・NoMaps実行委員長賞（優秀賞）
 - ・審査員特別賞
 - ・NEDO TCP賞
 - ・NICT賞
 - ・オーディエンス賞

オープンイノベーションチャレンジピッチ

- 日程：2020年11月以降、4回開催
- 概要：自社単独では解決できない課題を有する大手事業会社とスタートアップ企業等のビジネスマッチング。
- 分野：食、一次産業、IT、バイオ、ヘルスケア分野等
- プログラム：
- ファシリテーション
オープンイノベーションの潮流やニーズを情報提供。
 - 大手事業会社のニーズ発信
求めるニーズやパートナー像を発信
 - 個別相談会・商談会

取組③スタートアップ企業や起業家予備軍の成長・育成支援

- 起業家の成長を促すため、ビジネス経験の豊富なスタートアップ経営者による成功体験の共有、対話による啓発の場づくり、ポストコロナにおける新ビジネスの最新情報等の提供を行う。
- また、創業・アーリーステージの段階から、将来の事業化可能性を高めるため、ピッチコンテストに出場する起業家を対象に、事業計画のブラッシュアップ等を行うメンター支援を実施する。

起業家の成長の場

①起業意識や能力の向上を図るための啓発セミナー等の開催

- 成長機会の場として、起業や新規事業の経験が豊富なスタートアップ企業経営者による成功体験や専門知識等の共有など、対話形式等によるセミナーを開催。

最新情報の提供

②ポストコロナにおける新ビジネス創出に向けた勉強会等の開催

- ポストコロナにおける社会課題解決を可能とする新たなテクノロジーやソリューションを活用した新ビジネスの創出を題材とした勉強会やセミナーを開催。

メンター支援

③「NoMaps Dream Pitch」の登壇者に対し、事業計画等のブラッシュアップを実施

- 起業家が有する事業計画上の課題や不足しているスキル等を把握し、各分野の専門家が課題解決に向け指導。
＜専門家の分野＞ 事業計画、資金調達、プレゼン 等

取組④スタートアップ創出支援に係る関係機関ネットワークの強化

- 道内においてスタートアップ創出を促進するためには、「STARTUP CITY SAPPORO（札幌市、さっぽろ産業振興財団、D2ガレージ）」、「札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会」参画機関等、多様な機関が互いのリソースを持ち合い、連携して支援を進めていくことが重要。
- 関係機関との連携により、「J-Startup」の地方展開を図るとともに、オープンイノベーション推進体制の強化を図る。

①「J-Startup北海道」の始動

- 経済産業省では、「2023年までにユニコーン企業を20社創出する」という政府目標達成に向け、2018年に「J-Startupプログラム」を開始。選定された約140社に集中支援を実施。
- 現状のJ-Startup企業の約75%が在京のスタートアップ企業。地方の有望スタートアップ企業の活躍が期待されている。
- そのため、STARTUP CITY SAPPORO等と連携し、「J-Startup北海道」選定企業への集中支援を行う。具体的には、イベント出展支援や、ピッチイベント等への優先紹介、オフィススペースの優先利用等の支援を予定。

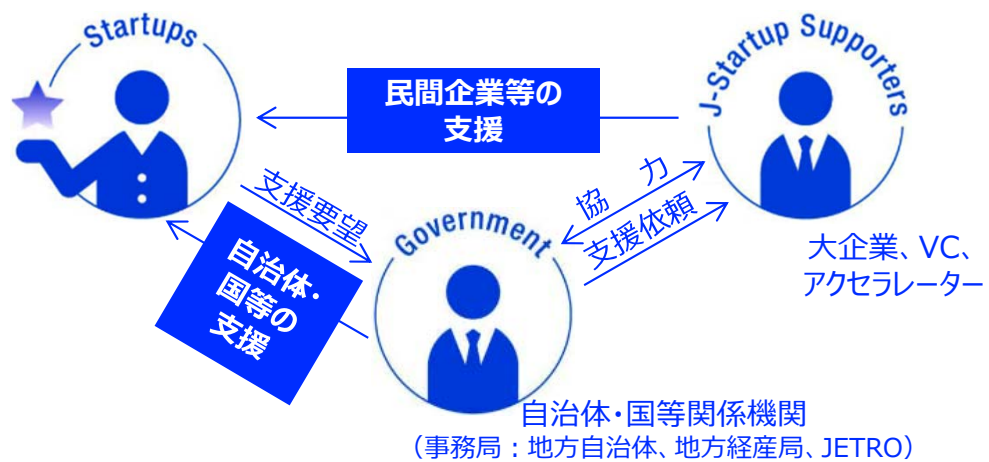
②オープンイノベーション推進体制の強化

- 地域の中小・スタートアップ企業と接点を持つ支援機関や、金融機関、大学、公設試等に対して、オープンイノベーションへの理解を促進し、大手事業会社やマッチングサービス事業者等とのネットワークを構築する。

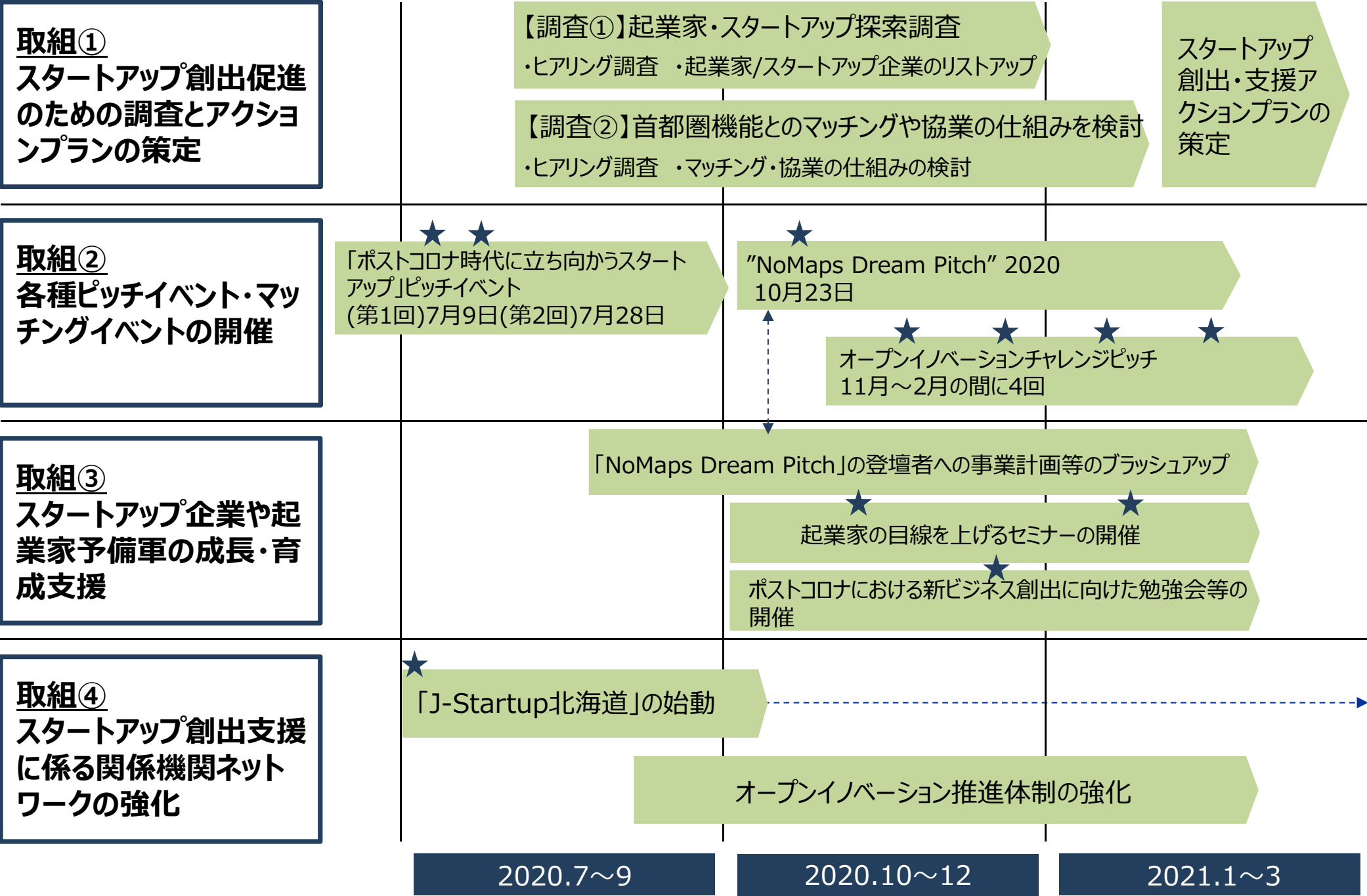
- ①キックオフミーティング
 - ・オープンイノベーションの概要・取り巻く環境等を情報提供
 - ・大手事業会社によるオープンイノベーションの取組紹介

- ②各地域での取組等に係る意見交換
 - ・道内各地域における取組の紹介
 - ・オープンイノベーションマッチング事業者とのディスカッション

- ③道内におけるオープンイノベーションの推進方策の検討
 - ・他地域の取組等を参考とした推進体制の検討
 - ・今後の推進方策等に係る意見交換



実施スケジュール



【参考1】スタートアップの都道府県別資金調達額の推移

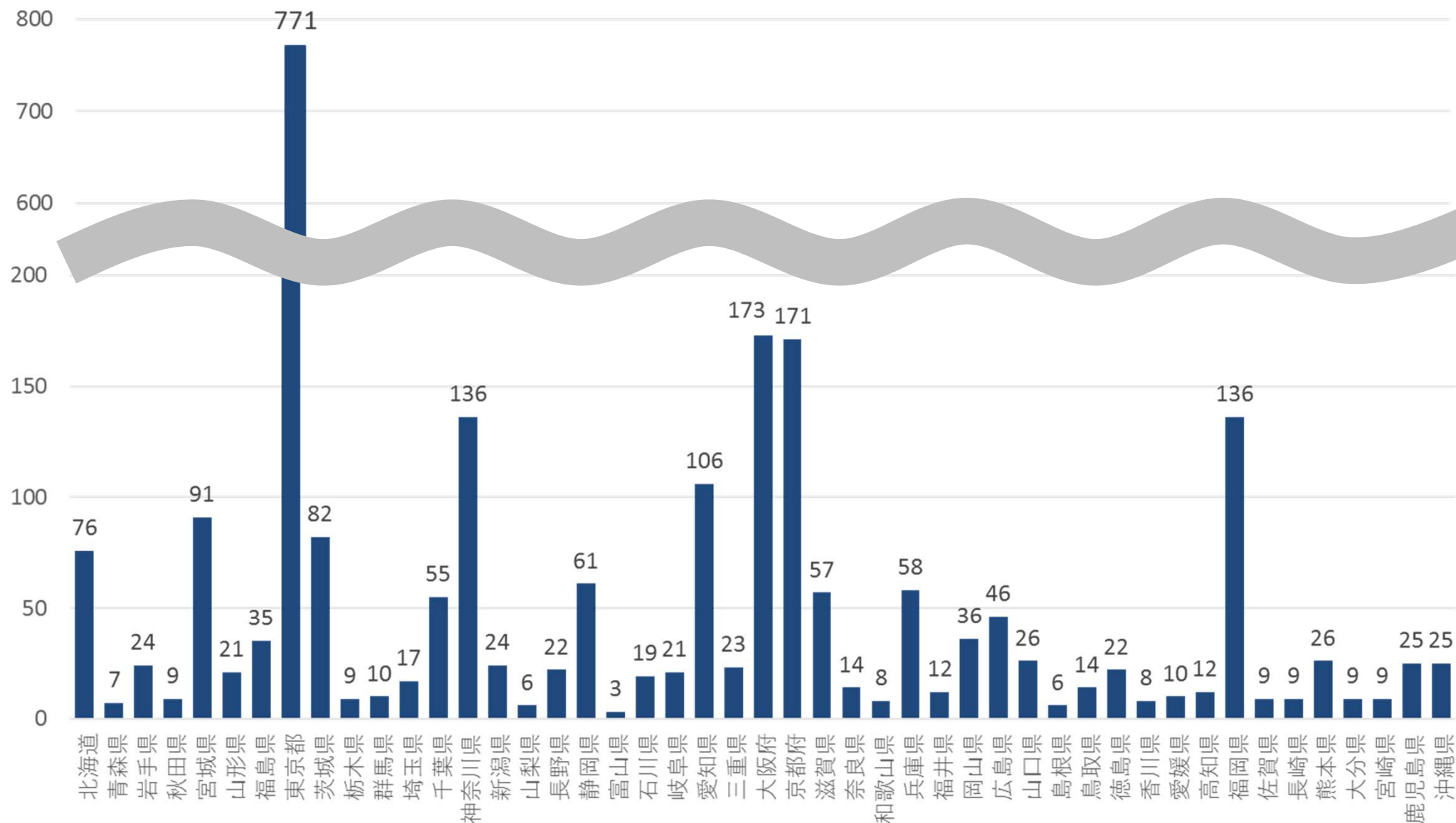
- 国内スタートアップの資金調達や投資動向についてまとめた「Japan Startup Finance」(entrepedia) の報告によると、日本全体のスタートアップの資金調達額は、2018年に3,878億円。内訳は、東京都所在のスタートアップの資金調達額は3,003億円と、全体の77%を占める。北海道は34億円に止まっている。

地域別調達額の推移

(億円)	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
東京都	540	464	622	521	640	1,161	1,383	1,815	2,427	3,003
神奈川県	59	60	29	20	38	41	21	108	167	169
大阪府	31	19	40	15	40	56	83	62	76	121
愛知県	5	18	5	3	3	9	15	31	87	79
福岡県	8	8	11	7	13	23	38	41	126	75
京都府	7	17	5	25	29	27	76	44	82	75
山形県	4	1	5	0	8	36	130	4	22	68
千葉県	11	11	5	3	8	4	8	15	16	39
北海道	3	6	7	3	1	3	12	24	11	34
栃木県						0	1	2	0	23
その他	69	94	85	47	48	58	94	115	154	192

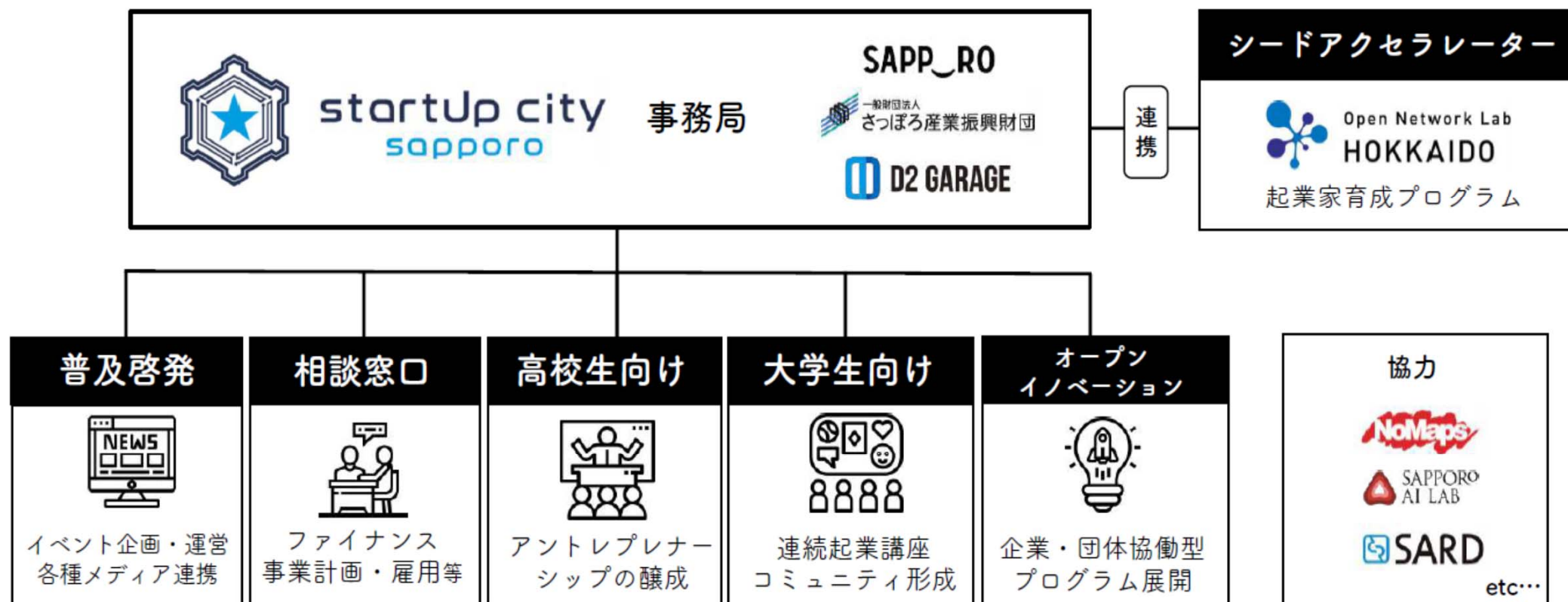
【参考2】都道府県別大学発ベンチャー創出数

➤ 東京都が最も多く771社、大阪府、京都府、福岡県・神奈川県と続き、北海道は、76社で9番目。



【参考3】STARTUP CITY SAPPOROプロジェクト

- 2019年9月、札幌市、一般財団法人さっぽろ産業振興財団、株式会社D2Garageで組織するSTARTUP CITY SAPPORO事務局では、札幌ならびに北海道でのスタートアップエコシステムの構築、人材育成を目的とした新たなプロジェクト「STARTUP CITY SAPPORO」を始動。



【参考4】札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会

- 2020年1月、札幌市が推進役となり、行政・大学・民間組織等の関係機関が一体となって、札幌・北海道において、スタートアップの創出・成長がなされるスタートアップ・エコシステムの拠点を形成し、イノベティブな札幌・北海道を実現することを目的とした「札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会」を設立。
- 本協議会を通じて、札幌・北海道からグローバルで活躍するスタートアップを創出・育成すると共に、国が推進する「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」における「グローバル拠点都市」の選定を目指している。

札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会名簿

区分等	機関・団体名
会長	札幌市
(自治体)	江別市
	帯広市
	函館市
(大学)	公立大学法人札幌市立大学
	国立大学法人北海道大学
	公立大学法人はこだて未来大学
(経済団体)	札幌商工会議所
	北海道経済同友会
	北海道経済連合会
(金融機関)	証券会員制法人札幌証券取引所
	株式会社日本政策金融公庫
	株式会社日本政策投資銀行
	株式会社北洋銀行
	株式会社北海道銀行

(支援機関)	札幌AIラボ
	一般社団法人札幌圏地域データ活用推進機構 (SARD)
	一般財団法人さっぽろ産業振興財団
	SAPPORO BI LAB
	Sapporo Founders Fund
	国立研究開発法人 産業技術総合研究所北海道センター
	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) イノベーション推進部
	独立行政法人 中小企業基盤整備機構北海道本部
	株式会社D2Garage
	独立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO)北海道貿易情報センター
	No Maps 実行委員会
	フードバレーとかち推進協議会
	一般社団法人北海道IT推進協会
	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
	北海道ベンチャーキャピタル株式会社
	地方独立行政法人北海道立総合研究機構

顧問機関	経済産業省北海道経済産業局
	総務省北海道総合通信局
	北海道

※2020年2月13日現在。※区分毎に50音順に並べています。